

## 令和7年3月末現在における山岳遭難の発生状況（暫定値）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
<b>R7</b> ※暫定値	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>3</b>

## 鹿児島県内における山岳遭難の発生状況（令和2年～令和6年）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
<b>R6</b> ※暫定値	<b>42</b>	<b>48</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>20</b>	<b>24</b>
R5	41	47	3	2	20	22
R4	26	27	2	0	12	13
R3	32	34	2	0	17	15
R2	33	35	3	0	14	18

### 【令和6年の発生状況】

遭難者総数48人中

○ 場所別では

屋久島山系が18人で最多、次いで開聞岳が10人、霧島山系が9人、その他の山岳が11人

○ 態様別では

道迷いが14人で最多、次いで転倒が7人、滑落・病気が各6人、このほか、疲労など

○ 年齢層別では

60代が13人で最多、次いで40代が11人、70代・50代が各8人、80代・20代が各3人、30代・10代が各1人

となっています。

